令和6年度 基金決算のお知らせ

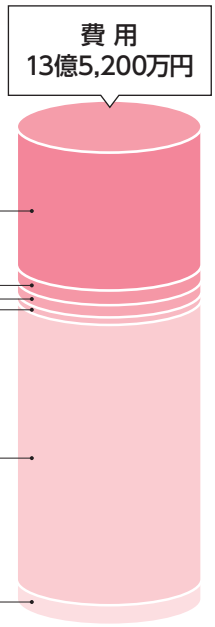
7月28日に開催されました第20回代議員会において、当基金の令和6年度の決算および財政検証結果が承認されましたので、その概要をお知らせいたします。

年金経理

年金の給付や掛金の受け入れ、年金資産の管理運用などを行う経理です。

1年間の収支状況
（損益計算書）

基金の主な収入源である掛金、支出である年金・一時金の支払いのほか、年金資産の運用損益などの1年間の収支を明らかにしています。

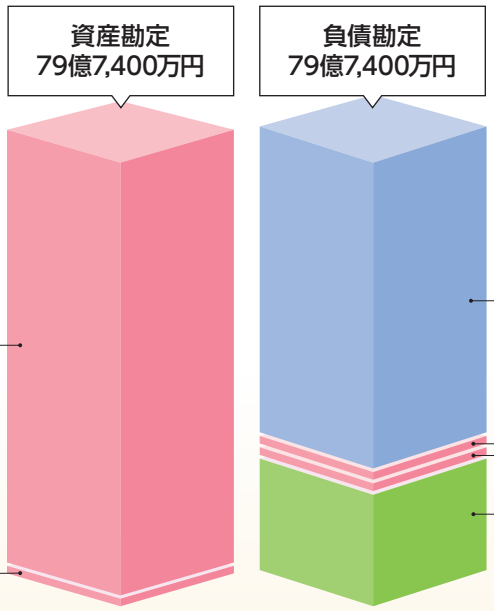


- **給付費**（3億9,500万円）
  年金や一時金を給付した額。
- **運用報酬等**（4,200万円）
  信託銀行や生命保険会社など運用機関に支払った運用手数料。
- **業務委託費等**（3,500万円）
  運用機関に委託している年金の支払いなどの業務の委託手数料等。
- **移換金**（800万円）
  基金から他の制度へ移換した中途脱退者の脱退一時金相当額。
- **責任準備金増加額**（8億1,600万円）
- **別途積立金積増金**（5,600万円）
- **掛金等収入**（5億3,400万円）
  病院からの掛金。
- **運用収益**（2億3,800万円）
  年金資産を信託銀行や生命保険会社などの運用機関で運用して得た収益。
- **別途積立金取崩金**（5億8,000万円）

資産と負債のバランス
（貸借対照表）

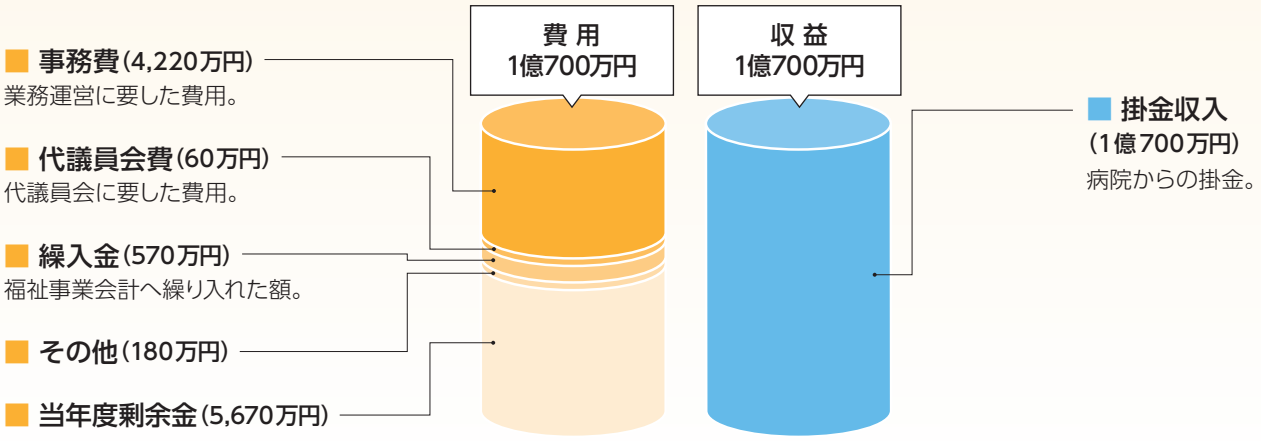
年度末において、実際に保有する年金資産と、将来の年金給付のために積み立てておくべき資産（責任準備金）を比較し、基金財政が健全に推移しているかをチェックします。

純資産：（固定資産＋流動資産）－（流動負債＋支払備金）　負債　基本金

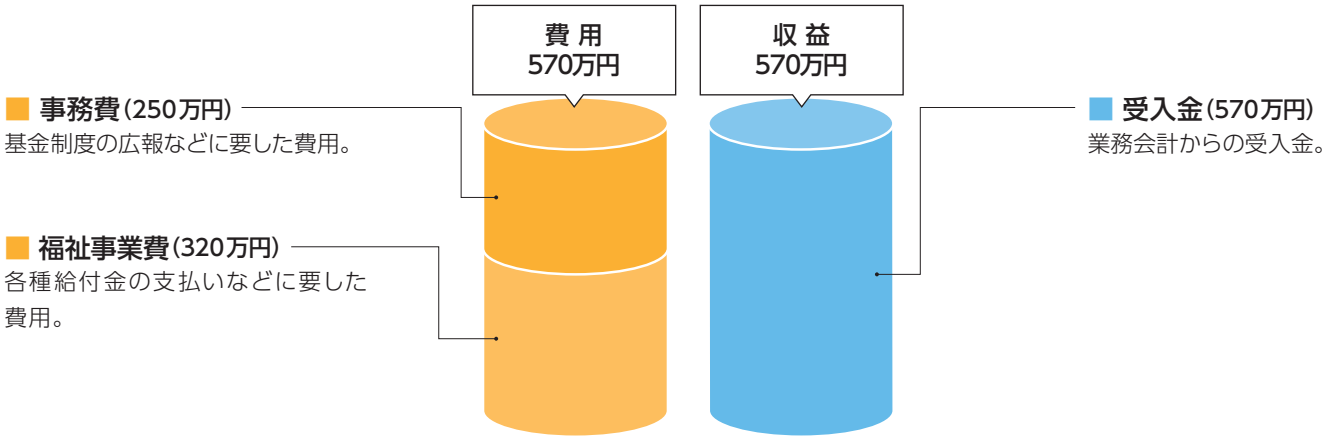


- **年金資産（固定資産）**（78億8,400万円）
  年金給付のために積み立て、運用を行っている年金資産。
- **流動資産**（9,000万円）
  現金や普通預金などと、当年度分の掛金収入などで、入金が翌年度になる分。
- **責任準備金**（57億1,000万円）
  給付を賄うために、現時点で積み立てていなければならない積立金の必要額。
- **流動負債**（100万円）
  当年度分の費用のうち、支払いが翌年度になる分。
- **支払備金**（6,300万円）
  年金や一時金の支払い時期が来ていながら未払いとなっている分。
- **別途積立金**（22億円）

業務経理　業務会計　基金を運営するための経費を処理する会計です。



業務経理　福祉事業会計　福祉事業を行う会計です。



基金では財政検証を実施しています

基金では、加入者・受給（権）者の皆さまの受給権保護のために、決算期ごとに年金資産の積立状況を２つの方法（継続基準、非継続基準）で検証しています。検証の結果、基準値をクリアしていない場合は、積立計画の見直しが必要になります。

継続基準

将来の給付のために保有しておくべき年金資金（責任準備金）が、計画通りに積み立てられているかを検証します。

$$\frac{\text{純資産額}}{\text{責任準備金}} = 1.38\ (\text{基準値：1.0以上})$$

●検証結果

純資産額が責任準備金を上回っており、基準値をクリアしています。年金資産は順調に積み立てられており、掛金の見直しを行う必要はないことが確認されました。

非継続基準

現時点で基金が解散したと仮定した場合、加入者・受給（権）者の加入期間に応じた給付に必要な資産（最低積立基準額）を保有しているかを検証します。

$$\frac{\text{純資産額}}{\text{最低積立基準額}} = 1.50\ (\text{基準値：1.0以上})$$

●検証結果

最低積立基準額に対する純資産額の割合が、基準値1.0を上回っており、基準値をクリアしています。積立水準を確保するための措置を行う必要はないことが確認されました。

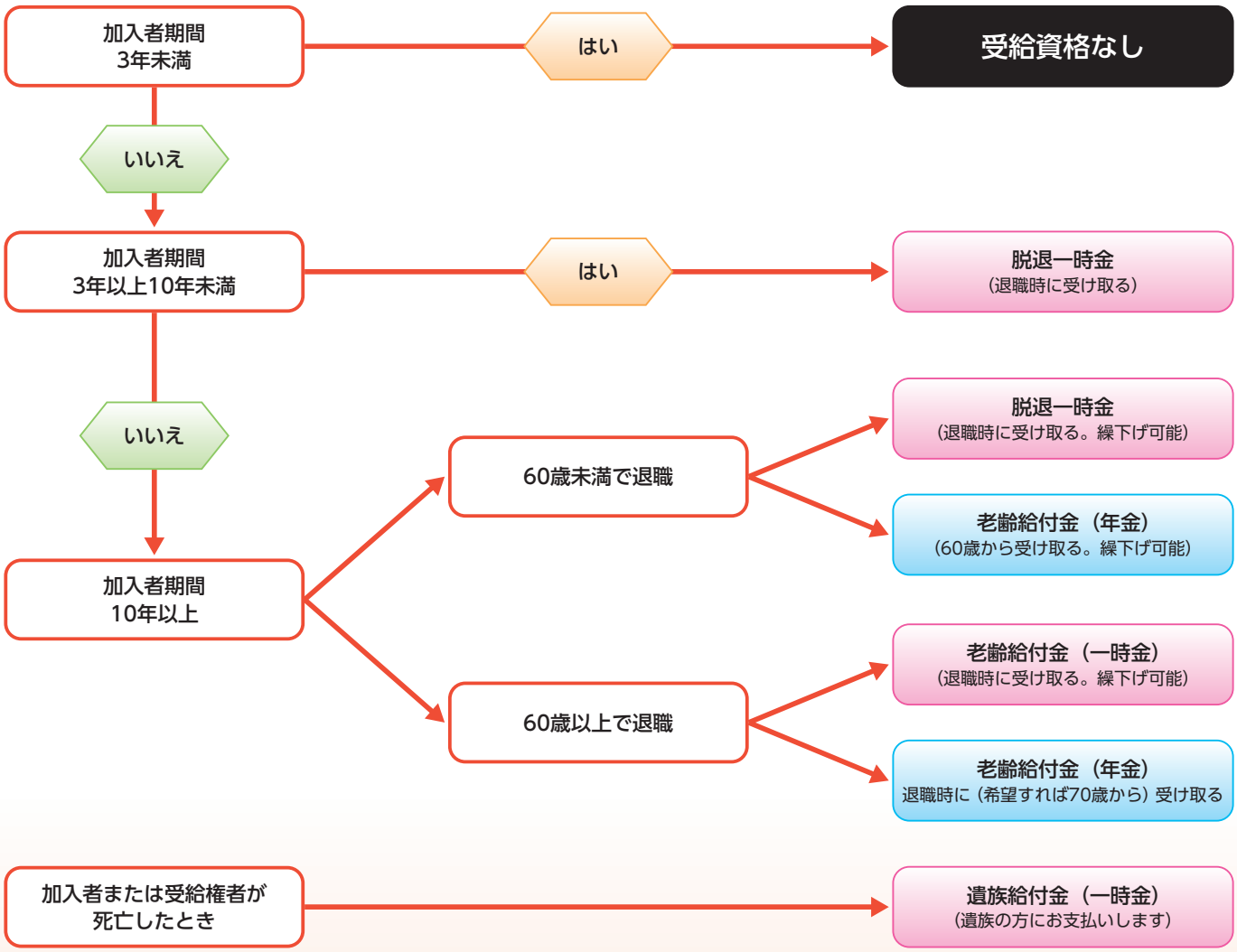
鹿児島県病院企業年金基金の業務概況

1．制度の概要について

（2025年3月31日現在）

（給付の設計）

支給要件			給付種類	給付の内容	支給時期
加入者期間	年齢	事由			
3年以上10年未満	―	退職	脱退一時金	一時金	即時
		死亡	遺族給付金		即時
10年以上	60歳未満	退職	脱退一時金	一時金	即時
			老齢給付金	確定年金（または一時金）	60歳（70歳まで繰下げ可）
	60歳以上70歳	退職	老齢給付金	一時金	即時
				確定年金（または一時金）	即時（70歳まで繰下げ可）
	―	死亡	遺族給付金	一時金	即時



（これから加入する方のモデル給付額）22歳新規加入（加入者期間、給付期間とも、想定利回り2.0%の場合）のケース

※平成29年11月以降に加入された方に適用されます。　（単位：円）

給付の種類	加入者期間	年金給付額（60歳支給開始）				一時金（退職時）
		5年確定（年額）	10年確定（年額）	15年確定（年額）	20年確定（年額）	
脱退一時金	5年					242,500
老齢給付金	10年	102,200	53,600	37,500	29,500	481,400
	15年	160,500	84,200	58,900	46,300	756,200
	20年	226,900	119,100	83,300	65,400	1,069,100
	30年	386,300	202,700	141,700	111,400	1,820,500
	38年	542,200	284,500	198,900	156,300	2,555,500

※遺族一時金の金額は脱退一時金と同額になります。

2．2025年3月期（2024年4月～2025年3月）決算状況について

（2025年3月31日現在）

（実施事業所数）

実施事業所	74

（加入者数）

加入者（人）	10,599

（年金受給者数）

老齢給付（人）	1,931

（給付の状況）

		件数	金額（円）
老齢給付	年金	1,931	62,109,840
	一時金	98	71,182,000
脱退一時金		665	188,214,200
遺族給付	一時金	14	3,815,700

（掛金の徴収状況（納付時期：毎月月末））

（単位：円、%）

種　類	規約上掛金率	納付決定額①	納付済額	不納欠損額	未納額②	②/①
標準掛金	1.4%	537,342,680	537,342,680	0	0	0.0%
特別掛金	0.1%	38,381,620	38,381,620	0	0	0.0%
事務費掛金	0.3%	115,144,860	115,144,860	0	0	0.0%
合　計	1.8%	690,869,160	690,869,160	0	0	0.0%

3．年金給付等積立金の積立概況

（2025年3月31日現在）

（貸借対照表（基本金処理後））

（単位：千円）

資産勘定		負債勘定	
純資産額	7,910,234	責任準備金	5,710,431
		別途積立金	2,199,803
合　計	7,910,234	合　計	7,910,234

4．財政の検証状況について

（2025年3月31日現在）

(1) 継続基準の財政検証：企業年金の財政運営を継続するうえで年金資産が計画通り積み立てられているかを検証します。

(2) 非継続基準の財政検証：制度を終了すると仮定した場合に、加入者及び受給権者等に対して保全すべき給付を支給するために必要な年金資産が確保されているかを検証します。

(3) 積立超過の財政検証：企業にとって損金算入される掛金を必要以上に払い込み続けるのは税務上問題があるため、年金資産額が積立上限額を超えていないか検証します。

（単位：千円）

区分	当基金の水準	基準値	判定
継続基準	純資産額 / 責任準備金 ＝ 1.38	1.00以上	○
非継続基準	純資産額 / 最低積立基準額（5,267,761） ＝ 1.50	1.00以上	○
積立超過	数理上資産額（7,910,234） ≦ 数理債務×1.5（9,513,631）		○

それぞれにおいて基準を上回っているため、掛金見直しの必要はありません。

5．年金給付等積立金の運用の概況

（2025年3月31日現在）

2025年3月期（2024年4月～2025年3月）の運用利回りは＋3.09%となり、運用収益は＋238百万円となりました。

（運用収益または運用損失）

（単位：百万円、%）

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
運用収益・損失額	712	125	－76	555	238
利回り	11.53%	1.78%	－1.07%	7.79%	3.09%

（資産別残高および資産構成割合）

（単位：百万円、%）

	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	短期資産	オルタナティブ	一般勘定	資産合計
時価総額	222	718	1,583	678	215	3,746	723	7,884
構成割合	2.8%	9.1%	20.1%	8.6%	2.7%	47.5%	9.2%	100.0%

備考　受託機関：三菱UFJ信託銀行、三井住友信託銀行、みずほ信託銀行、りそな銀行、第一生命保険、SOMPOアセットマネジメント

（政策アセットミックス）

（単位：%）

	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	短期資産	オルタナティブ	一般勘定	合計
構成割合	11.5%	9.0%	11.5%	9.0%	2.0%	48.0%	9.0%	100.0%

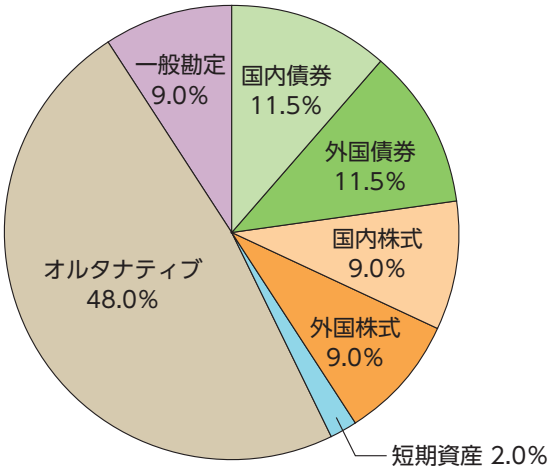
6．運用の基本方針について

（2025年3月31日現在）

鹿児島県病院企業年金基金では次の方針に基づいて積立金を運用しています。

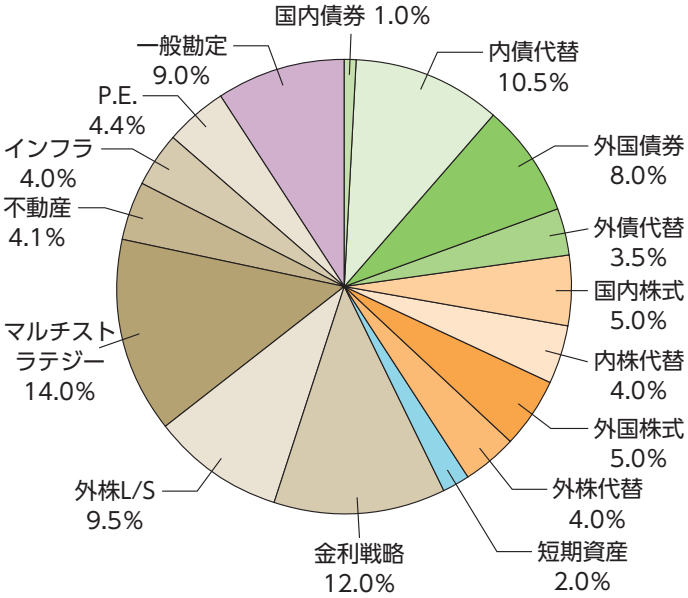
運用の基本方針（概要）	
目　的	当基金の年金給付および一時金の支払いを将来にわたり確実に行ううえで必要とされる積立金を確保するために、運用収益を長期的に確保することを目的としています。
目　標	将来にわたって健全な年金制度運営を維持するために必要な収益率とするが、当基金の成熟度等を勘案し、具体的には2.0%を当面の目標収益率とし、これを長期的に上回ることとしています。
資産構成	運用目標を達成するため、運用資産の期待収益率、リスク、相関係数等を考慮し、長期的観点から政策的資産構成割合（政策アセットミックス）を定めています。
年金資産管理運用委員会	リスク管理状況、運用受託機関の選定および評価、運用業務に係る遵守事項等をチェックする目的で、年２回以上開催しています。議事内容については開催の都度ホームページに委員会資料を掲載しています。

2025年度政策アセットミックス



国内債券　外国債券　国内株式　外国株式　短期資産
オルタナティブ　一般勘定

2025年度政策アセットミックス（内訳）



国内債券　内債代替　外国債券　外債代替　国内株式　内株代替
外国株式　外株代替　短期資産　金利戦略　外株L/S
マルチストラテジー　不動産　インフラ　P.E.　一般勘定